

そよかぜ

第48号

発行：令和6年11月1日
発行責任者：病院長 安藤秀男
編集：中津川市民病院広報委員会

やつと秋になりました

総合病院中津川市民病院 病院長 安藤 秀男



長かった
酷暑の夏も
終わり、新
型コロナウ
イルス感染
症の第11波
も落ち着き、

当院も面会制限の緩和も行うことができています。最近のコロナウイルスはオミクロン系の中での変異を繰り返しており、変異を繰り返すごとに感染性は強くなるが、症状が軽い方の割合が増えています。おそらく皆様は「コロナって風邪みたいなもの」と感じていらっしゃる方が多いと思います。実際に、コロナウイルスに感染しても半分以上の方が無症状です。このため第11波の時に、毎日10万人以上の新規感染者がでていると報道があっても実感がないことが多かったと思います。

が、入院時や入院直後に新型コロナウイルスの感染が判明することが増えました。ご家族の検査を行うと、ご家族は無症状でも陽性であることがほとんどでした。入院されている患者さんの80%は高齢の方で、容易に悪化するリスクがあるため、市中から院内へのウイルスの持ち込みは極力防ぎたいと考えています。このため当院では、コロナウイルス流行期には面会を制限する方針でございます。もちろん治療が必要なコロナ患者さんはしっかりと受け入れ、治療をおこなってまいります。厚生省は今年も年末から2月にかけて次の流行期となることを予測しております。流行期には無症状であっても感染している可能性があると考え、来院される場合にはマスク着用や手指消毒にご協力をお願いいたします。

さて、私は、病院長となり12年目となりました。新病院の建設を含め、当地の10年後20年後を考えるとまだまだ道半ばでございます。中津川市のみではなく近隣の市町村とも連携しながら諸問題の一つずつ解決し、病院長として微力ながら中津川市民病院の運営に全精力を注いで行く所存でございます。これからも当院に御支援御協力をいただけますよう、よろしくお願いいたします。



『地域医療を支える人づくり事業～みてみようドクターの仕事～』・
『中津川市地域医療コースセミナー』を合同開催しました



令和6年8月25日(日)に、今回で第5回目の開催になる「地域医療を支える人づくり事業」(岐阜県内の中学2年生と高校1年生対象)と第2回「中津川市地域医療コースセミナー」(医学部1・2・3年生対象)を合同開催しました。

参加者は中学2年生(1人)、高校1年生(3人)、医学部2年生(2人)でした。

小児科スタートコース

【小児科についてのセミナー】・【鶏肉を使用して皮膚縫合実習】・【人工血管を使用して採血実習】等

麻酔科スタートコース

【麻酔科についてのセミナー】・【人形を使用して全身麻酔実習】・【手術室の各種モニターの体験実習】・【気管挿管実習】・【腹腔鏡操作実習】等

全体で

【コロナ感染症について・奨学金制度についてのセミナー】・【中高生と医学生の交流会】を行いました。



糖尿病委員会

慢性腎臓病 (CKD) について

慢性腎臓病 (CKD) とは・・・

腎臓の働き (GFR) が健康な人の60%未満に低下する (GFRが60ml/分/1.73平方メートル未満) か、あるいはタンパク尿が出るといった腎臓の異常が続く状態を言います。

CKD (慢性腎臓病) は、新しい国民病と言われ、日本ではCKDの患者が約1,330万人以上いると推計されています。年をとると腎機能は低下していきますから、高齢者になるほどCKDが多くなります。高血圧、糖尿病、コレステロールや中性脂肪が高い、肥満、腎臓病、家族に腎臓病の人がいる場合は要注意です。さらにCKDは、心筋梗塞や脳卒中などの心血管疾患の重大な危険因子になります。腎臓を守ることは心臓や脳を守ることに繋がります。

CKD (慢性腎臓病) の予防について・・・

CKD (慢性腎臓病) の初期には、ほとんど自覚症状がありません。貧血、疲労感、むくみなどの症状が現れたときには、病気がかなり進行している可能性もありますので、定期的に尿検査や血液検査を受けましょう。

肥満、運動不足、飲酒、ストレスなどの生活習慣は、CKDの発症に大きく関与していると言われています。

CKDの予防の目的は、透析が必要な末期腎不全への進行を遅らせることと、心血管疾患になるのを防ぐことです。そのために、まず生活習慣の改善が重要です。そして、高血圧や糖尿病などの生活習慣病がある人は、医療機関を受診して治療しておくことが大切です。

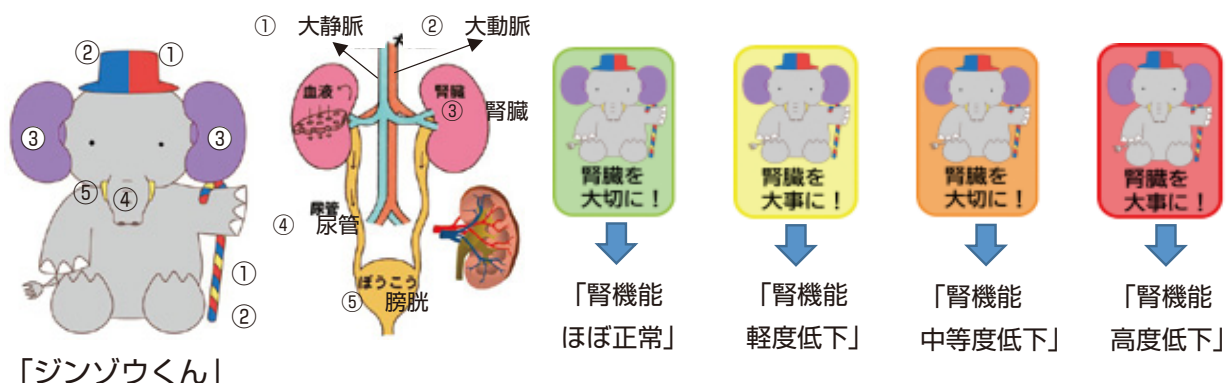
CKD シールを知っていますか？

岐阜県では、糖尿病性腎症を含むCKD (慢性腎臓病) の患者さんが薬剤による腎機能低下を防ぐため、お薬手帳に貼るCKDシールを作成しました。

かかりつけ医や薬剤師が、CKDシールを確認することで、腎臓の働きを考えたお薬の調整がしやすくなり、患者さんの腎臓を守ります。

このシールをお薬手帳に貼ってもらった患者さんは、薬局に処方箋を提出するときは、必ずお薬手帳を出して、CKDシールを見せるようにしましょう。

「ジンゾウくん」は「腎臓」を表した象です。



中津川市民病院各科診療担当医表

令和6年11月1日現在
※受付時間 8:15~11:30

		月	火	水	木	金	土
内科	一診 (循環器)	古田	林	古田	松下	林	
	二診 (消化器)	中野	西尾	物江	中野	西尾	
	三診 (腎臓・他)	黒田 (循環器)	西尾 (腎臓)	黒田 (循環器)	三谷 (腎臓)		
	四診	佐々木 (血内 PM)	前田 (呼吸器) ※再診のみ	ペースメーカー 外装 (第1・2・3)	鈴木 (血内 AM)	大竹 (内分泌 AM)	
	五診 (呼吸器・他)	前田 (呼吸器)	糸魚川 (呼吸器)			牛嶋 (呼吸器)	
	六診 (内分泌・他)	蜂谷 (内分泌)		内藤 (内分泌)	芦田 (内分泌)	北原 (循環器)	
	七診 (消化器)	山下 (循環器)			安江	物江	
	八診			瀬戸川 (腎臓)			
	内視鏡 AM	西尾 物江・安江	中野 物江・安江	中野・西尾 安江・加納	西尾・物江	中野・物江 安江・山本	
	内視鏡 PM	西尾・物江 安江・竹内	中野 物江・安江	中野・西尾 安江・加納	西尾・物江	中野・物江 安江・山本	
透析	血液浄化センター	西尾・三谷 瀬戸川	三谷 瀬戸川	西尾・三谷	西尾	西尾・三谷 瀬戸川	西尾・三谷
脳神経内科	一診	橋詰	今村 (整形外科) (PM)	岸本	担当医	前田	
	二診		平賀				
小児科	一診	菊井		木戸	安井 (アレルギー)		
	二診	成瀬	木戸	加藤 (循環器)	成瀬	木戸	
	三診	白木 (神経)	菊井	小島	森島	菊井	
	午後 一診	予防接種		乳児健診	安井 (アレルギー)		
	午後 二診	予防接種	成瀬			木戸	
	午後 三診			菊井	予防接種		
	外科	一診	奥村	兼松	奥村	橋本	青木
二診	杉山	橋本	杉山	関谷	関谷 (11:00~)		

※担当医は予告なく変更する場合がございますので、予めご了承願います。

この色表示の氏名は、非常勤を示しています。

受診予約 お電話による事前予約、変更、キャンセルはこちらからお願いします。
TEL: 0573-66-1601 受付時間14:00~17:00 (平日)

		月	火	水	木	金
脳神経外科	一診	鈴木	吉本	長田	石崎	担当医
	二診		担当医	永田		
歯科口腔外科	一診	齊藤	水野	澤木	(第1・3・5)氷野 (第2・4)清藤	佐々木
	二診	水野	齊藤	宮本 (麻酔科術前)	(第1・3・5)清藤 (第2・4)氷野	
泌尿器科	一診	田中		田中	田中	田中
整形外科	一診	丸山		丸山	丸山	前川
	二診	徳武	田中	矢野(心)	田中	船橋
	三診	矢野(心)	前川	横井	矢野(心)	田中
	四診	AM 前川 PM 石塚		矢野(順)		竹上 (第一週のみ)
形成外科	午後2時			吉村/ 森永		
産婦人科	一診	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医
	二診	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医
眼科	一診	岡田	幸道	岡	岡田	幸道
	二診	岡	石田	石田	岡	石田
耳鼻いんこう科	一診	岡野	倉田	加藤	鹿野	加藤
	二診	加藤	加藤			
午後			CPAP外来			
皮膚科	一診	片山	片山	室	片山	
	二診	後藤	後藤		後藤	
検査科 (病理)		岩田・平岩	岩田・平岩	岩田・平岩	岩田・平岩	岩田・平岩
			豊國		岡崎	
心理相談			伊藤			伊藤
健康管理センター		三竹	榎間	亀山	亀山	亀山



http://nakatsugawa-hp.jp/tantoui/
左のQRコードを読み取ってください
読み取れない場合はURLを直接入力してください

令和6年度患者満足度調査を実施しました

(調査期間: 7/1~7/31)

	回答件数	とても満足・やや満足の割合
入院	88件	約59.1%
外来	801件	約51.3%

令和6年7月から1ヶ月間にわたり患者さまを対象としたアンケート調査を実施しました。アンケートにご協力いただきました皆様、誠にありがとうございました。

患者満足度調査では、貴重なご意見もたくさんいただきました。PS向上委員会ではいただいたご意見をもとに、さらなる満足度向上に努めて参ります。

PS (患者満足度) 向上委員会

わたくしどもの理念

患者さまの立場を十分理解し
質の高い医療を目指します

1. 地域医療における役割強化に努めます。
2. 患者さまの権利を尊重し、満足度向上を進めます。
3. 知識や技術向上のための教育強化に努めます。
4. 協働意識の醸成やコミュニケーションを図ります。
5. 健全経営を確立します。

